

画面上のアイコン

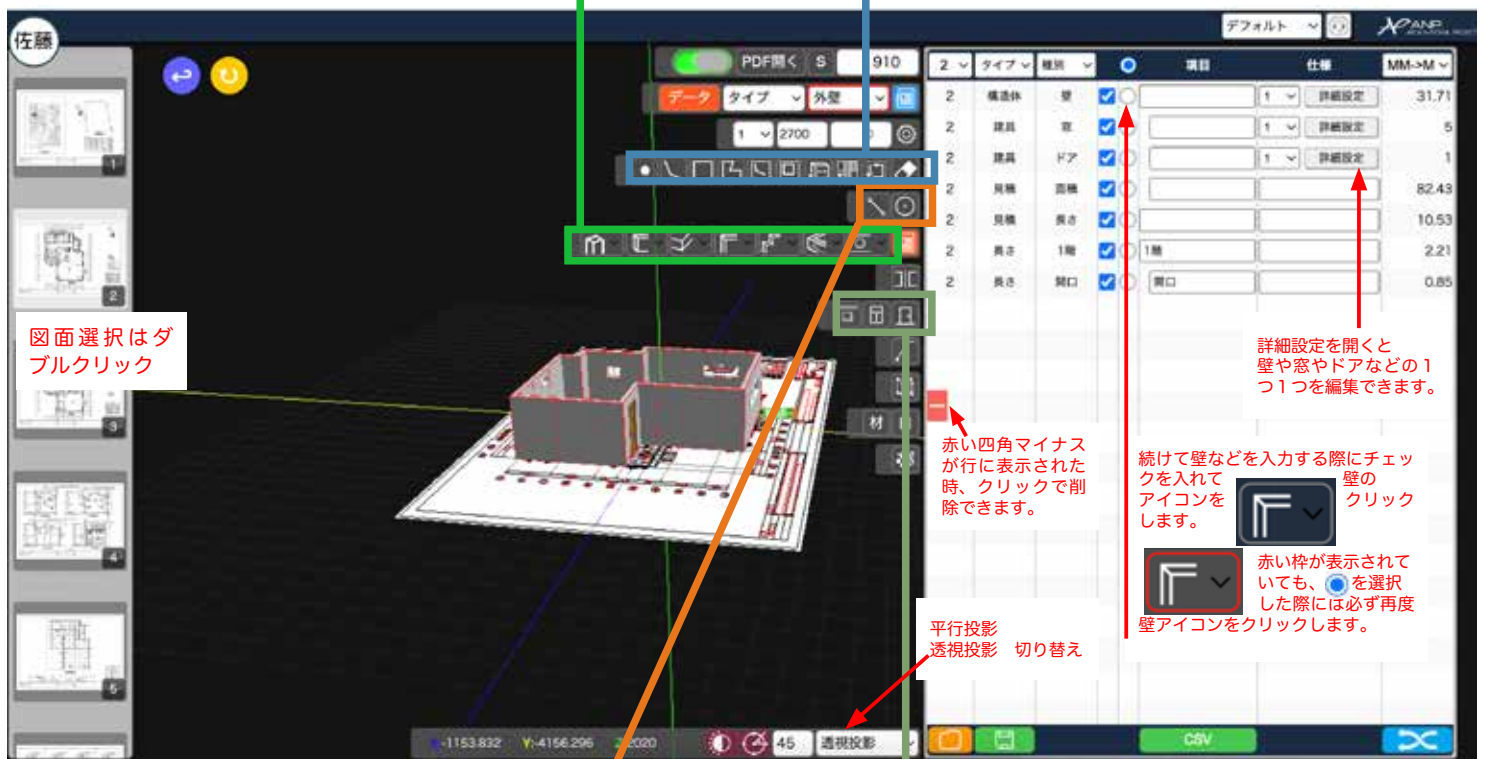
先にアイコンをクリックし、目的の箇所を図面側でクリックし、選択後 Enter を押すと右表に数値が表示されます。



部材 長さ 矩形 多边形 開口 (長さ) 開口 (面積) 長さ選択 面積選択 開口周長選択 体積選択 削除



柱／丸柱／多边形／RC 柱／RC 丸柱／RC 多边形 梁／RC 梁 平面／片持ち平面 RC スラブ 壁／腰壁／RC 壁 階段／RC 階段 RC 基礎 RC 人通口



テクスチャー



データ表開閉



基準線設定 必ず1番先に行います。



線 (補助線) 円

※削除するときは消しゴムアイコンをクリックして図面側で1本ずつ削除してください。補助線は右の表には表示されません。



壁開口 窓 ドア

アップした PDF 図面の保存



保存状態

未保存

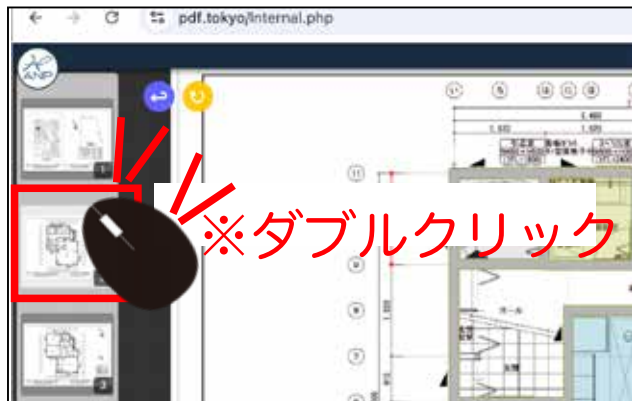
保存するときは図面をダブルクリックしてから保存します。必ず1番先に行います。



PDF 図面アップロード

画面操作方法

画面左部分から目的のページを**ダブルクリック**します。図面が表示されます。



【拡大・縮小】

図面上で、マウスホイールを上下に操作します。



画面全体で拡大・縮小はしないでください。

【図面位置移動】

マウスホイールを**押したまま**動かして移動します。



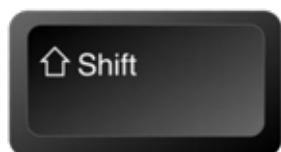
【3D時 360° 操作】

マウスホイールを**押したまま**動かします。



【3D時 上下左右移動】

Shift + マウスホイールを**押したまま**上下左右に動かします。



+



※マウスホイールがないマウス
図面の位置移動はキー
で操作できます。



①壁の作り方



基準線の設定が終了している必要があります。

S

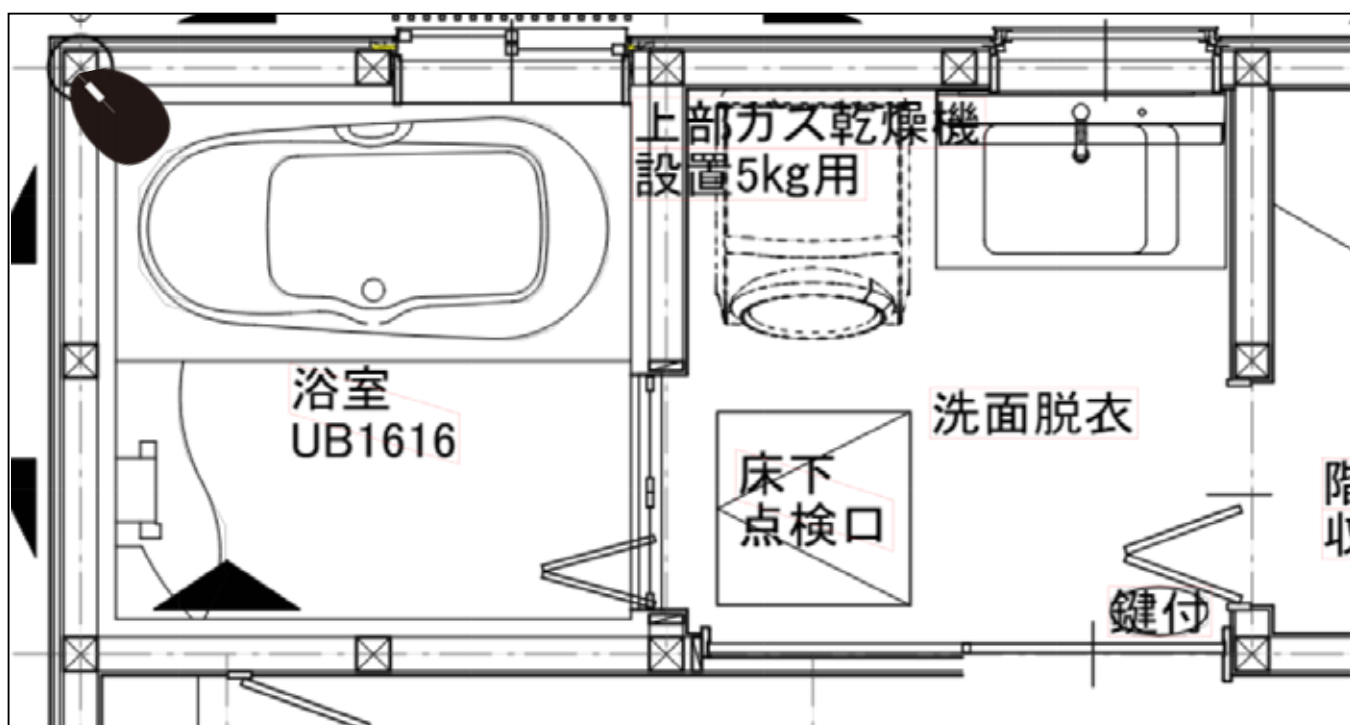
サイズ記入

基準線の握り方は積算するページ毎で行います。
Sをクリックし、記載されている線をなぞってサイズを記入します。

- 1)  をクリックします。



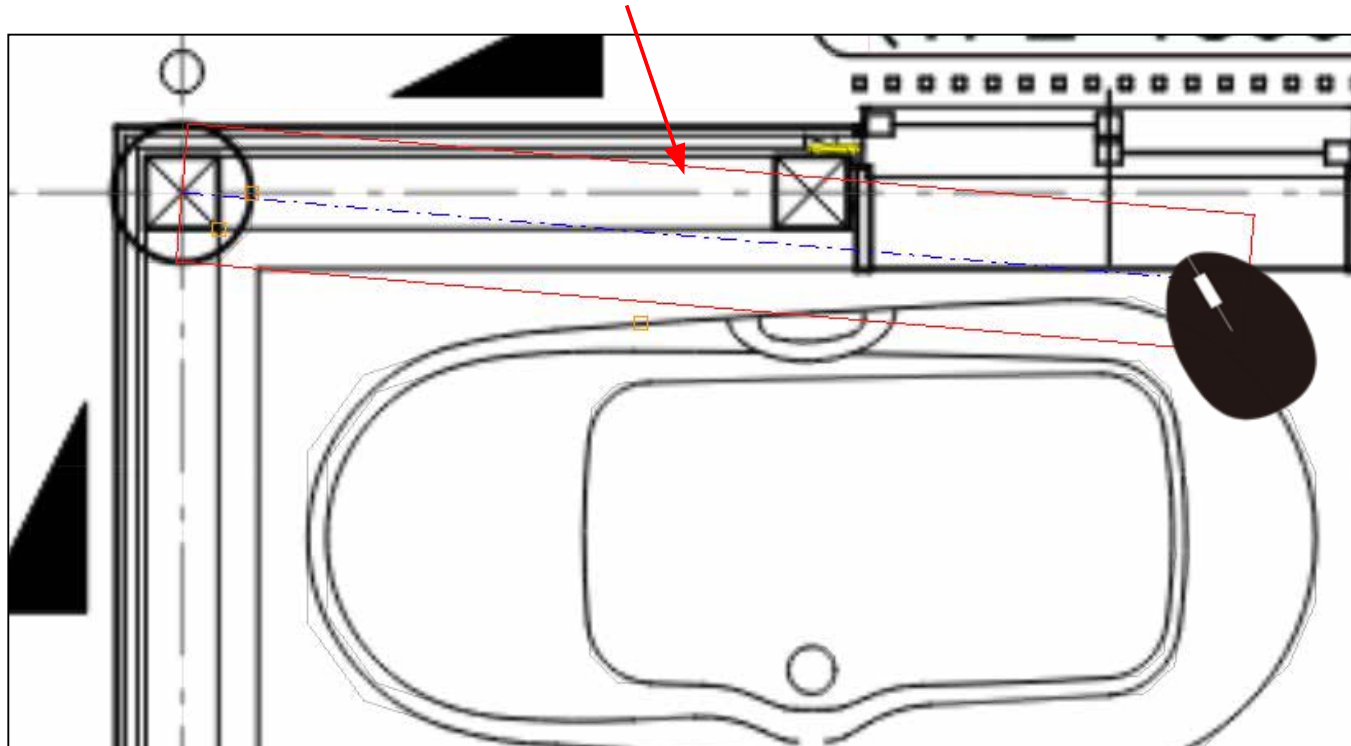
- 2) マウスで壁になる部分をなぞります。



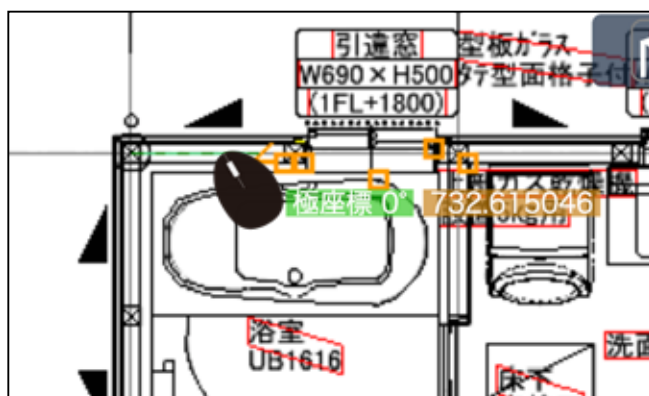
- 3) かなり拡大した方が正しく拾えます。**交点**のマークが出たらマウスでクリックします。



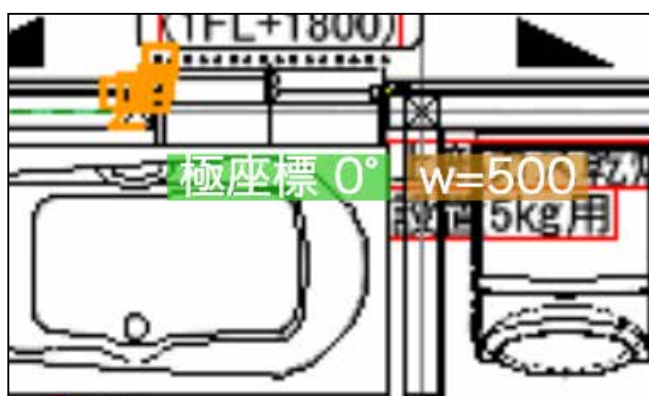
4) 始点から線を引くと、壁がついてきます。



応用（上級者向け）



壁の引きはじめの場合、マウスを止めて、直接壁厚を指定できます。



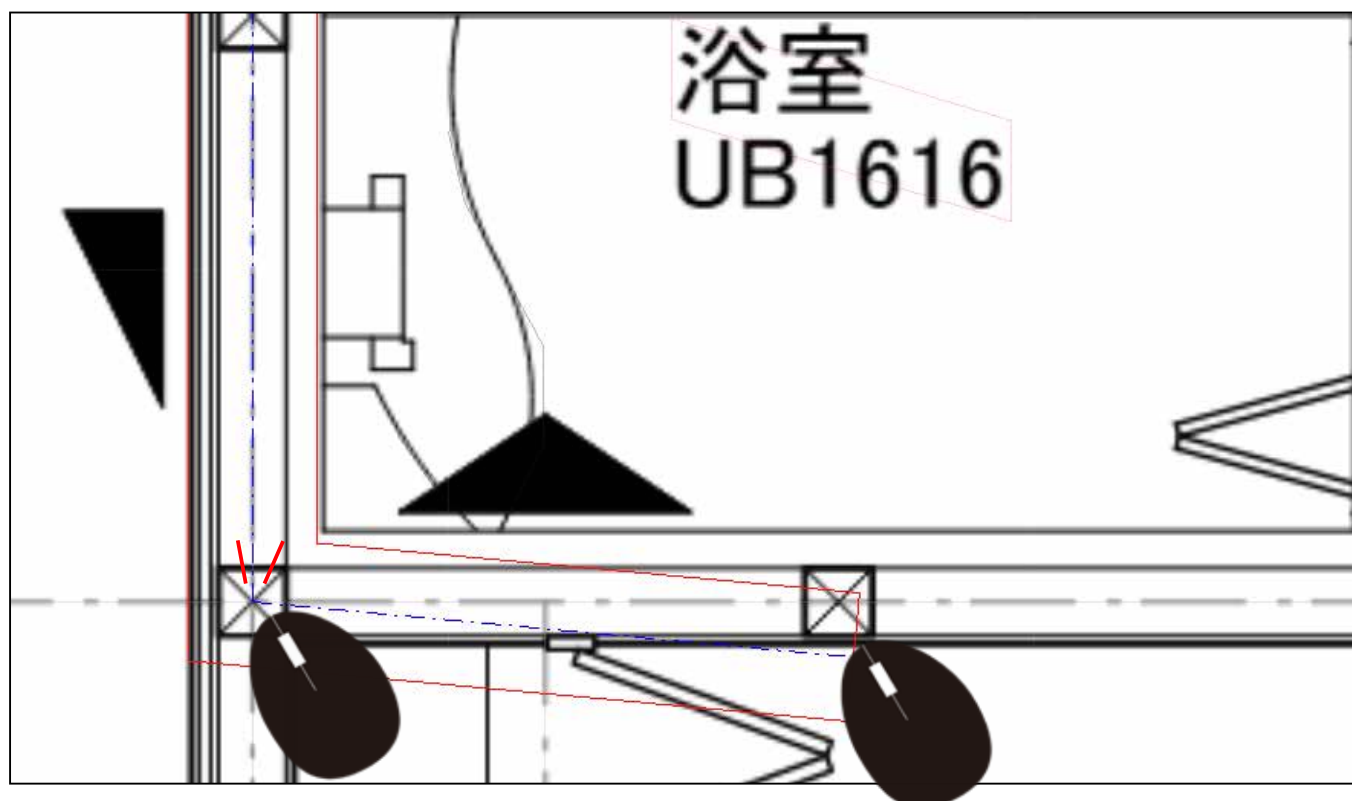
直接キーで入力、 $w = \text{〇〇〇}$ と、指定します。

【注意】

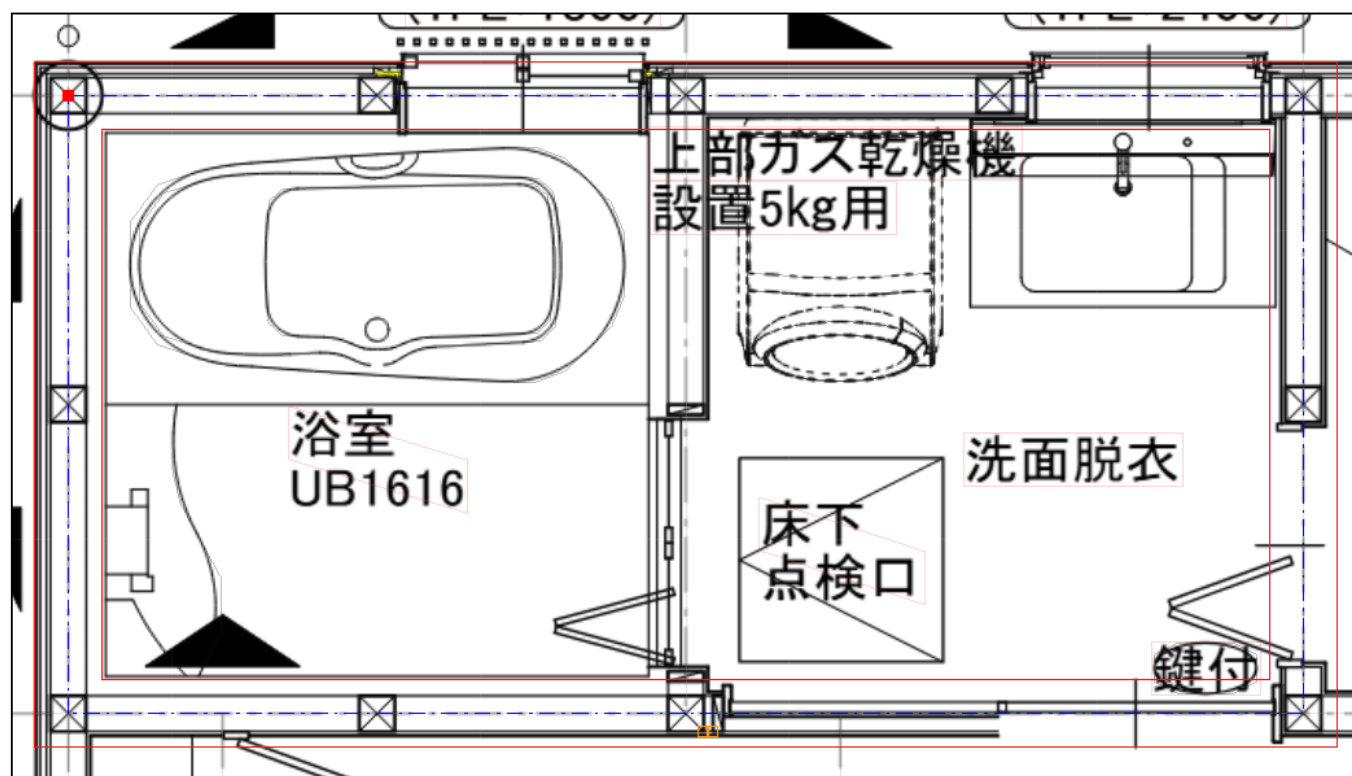
その後の壁厚も全て指定した厚さに変わります。

詳しいなぞり方は
P19 ～に記載

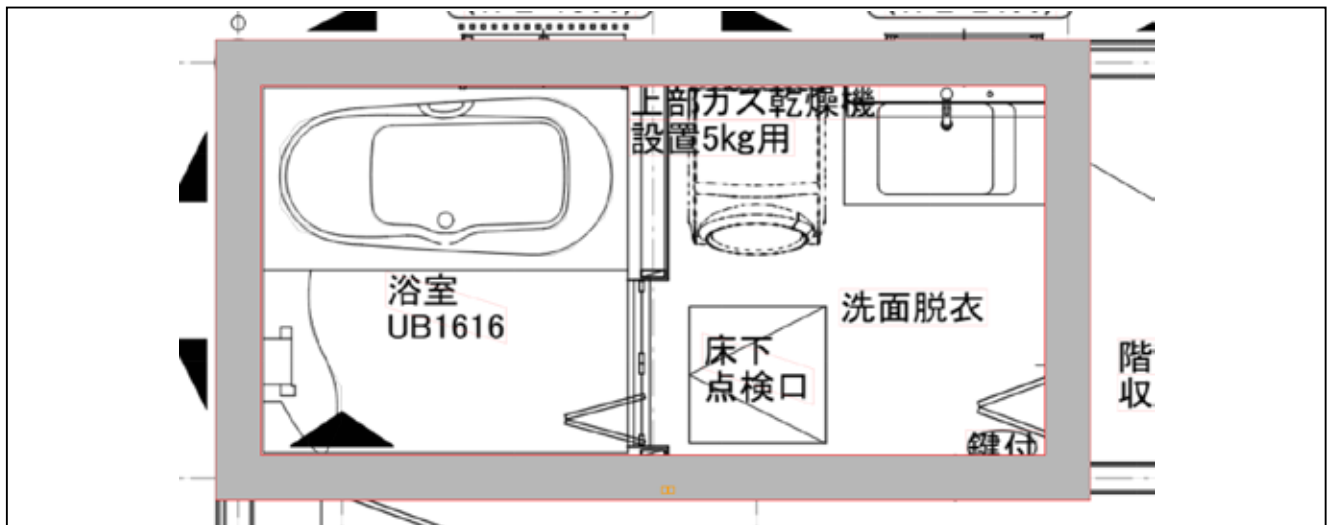
5) 角や部屋分けしたい箇所でクリックしながらなぞります。



6) UB と洗面脱衣を囲いました。 壁の分、赤い線がついています。



7) Enter キーを押すと壁の表示になります。



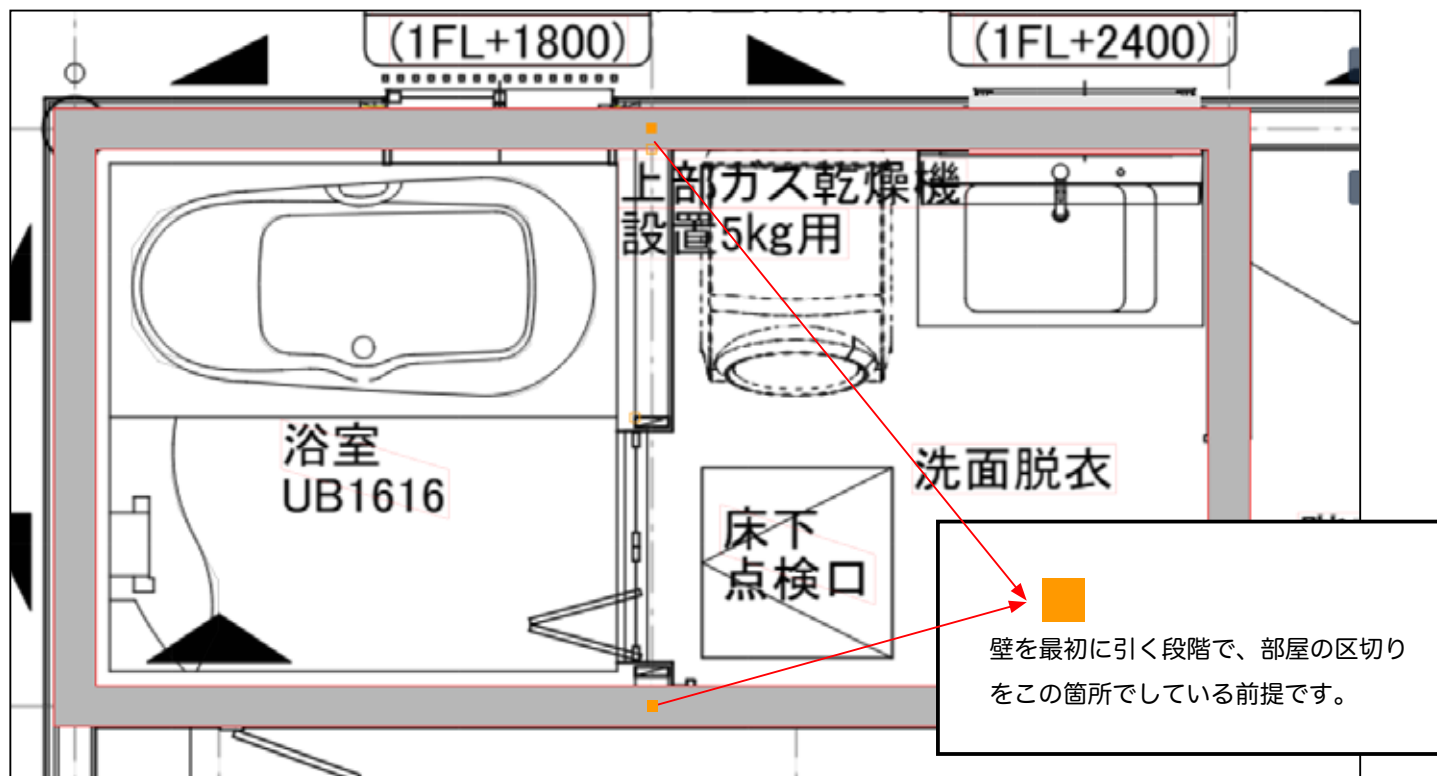
8) 右の表に 壁 の行が作られます。



1度Enterを押した後に、続けて壁を入力する際は、必ず ○ の部分をチェックを入れ、再度壁のアイコンをクリックします。
チェックをせず、アイコンをクリックせずに進めると別々の行になり部屋分けできません。



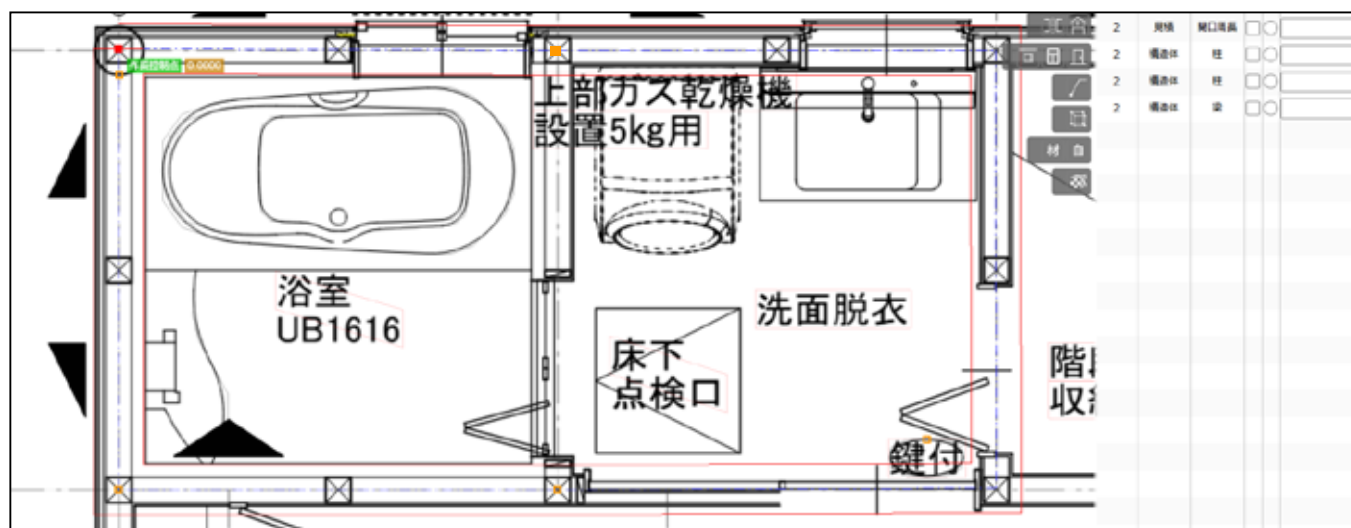
9) 開始と終了のどちらも ■ が表示された箇所をクリックすると、部屋として分けられます。



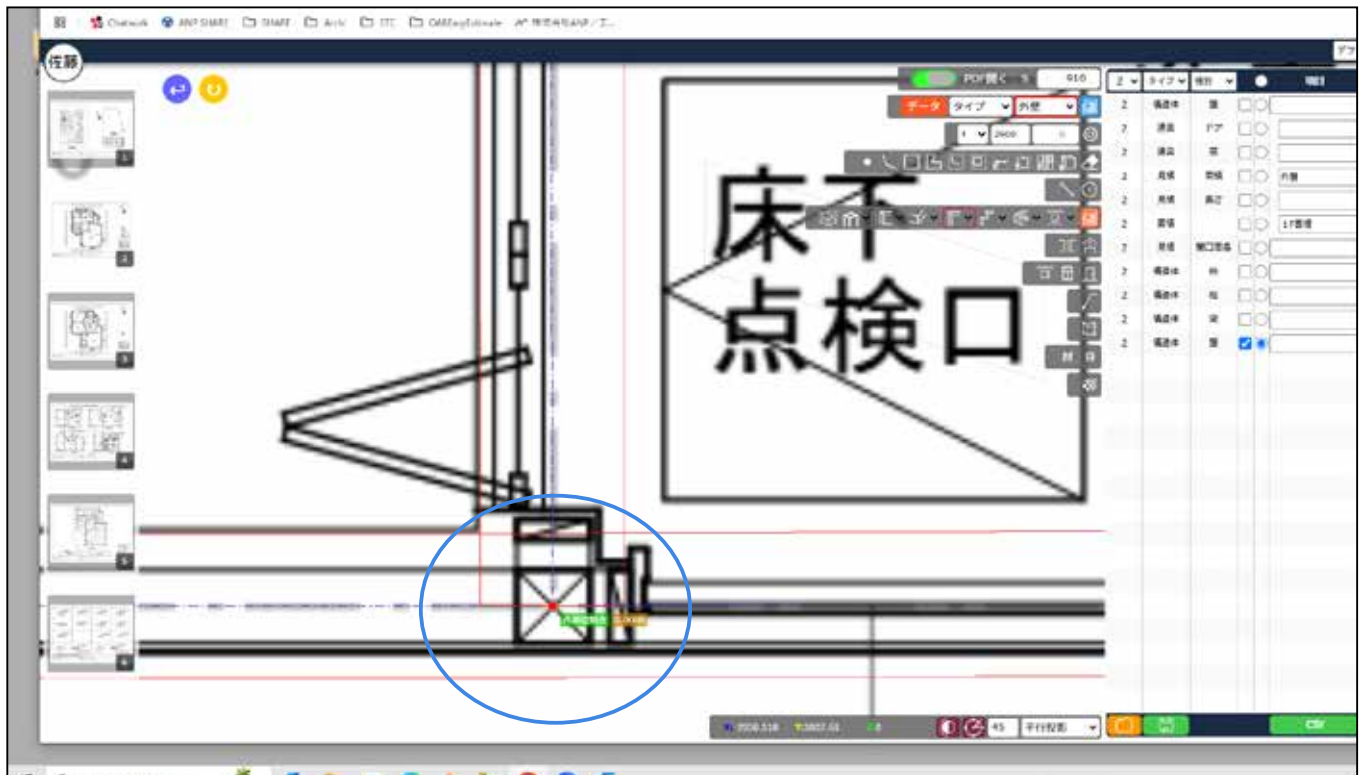
このマークをわかりやすくする場合、右のように仕上げ面のチェックを外し、端点だけ選択した状態にするとわかりやすいです。



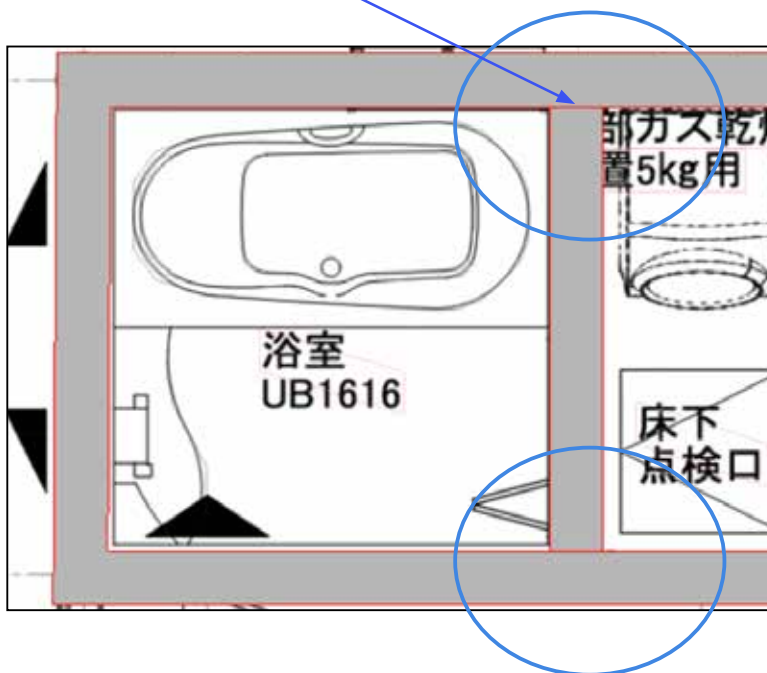
10) ■ の箇所からマウスでなぞります。



11) 赤い ■ が、表示されたら結合できた印です。Enter を押します。



仕上げ面のチェックを入れた時に
線がある場合は、部屋分けできていません。



部屋分けできない理由は、

①壁にチェックを入れなかったか、

②開始点・終了点がずれているか、

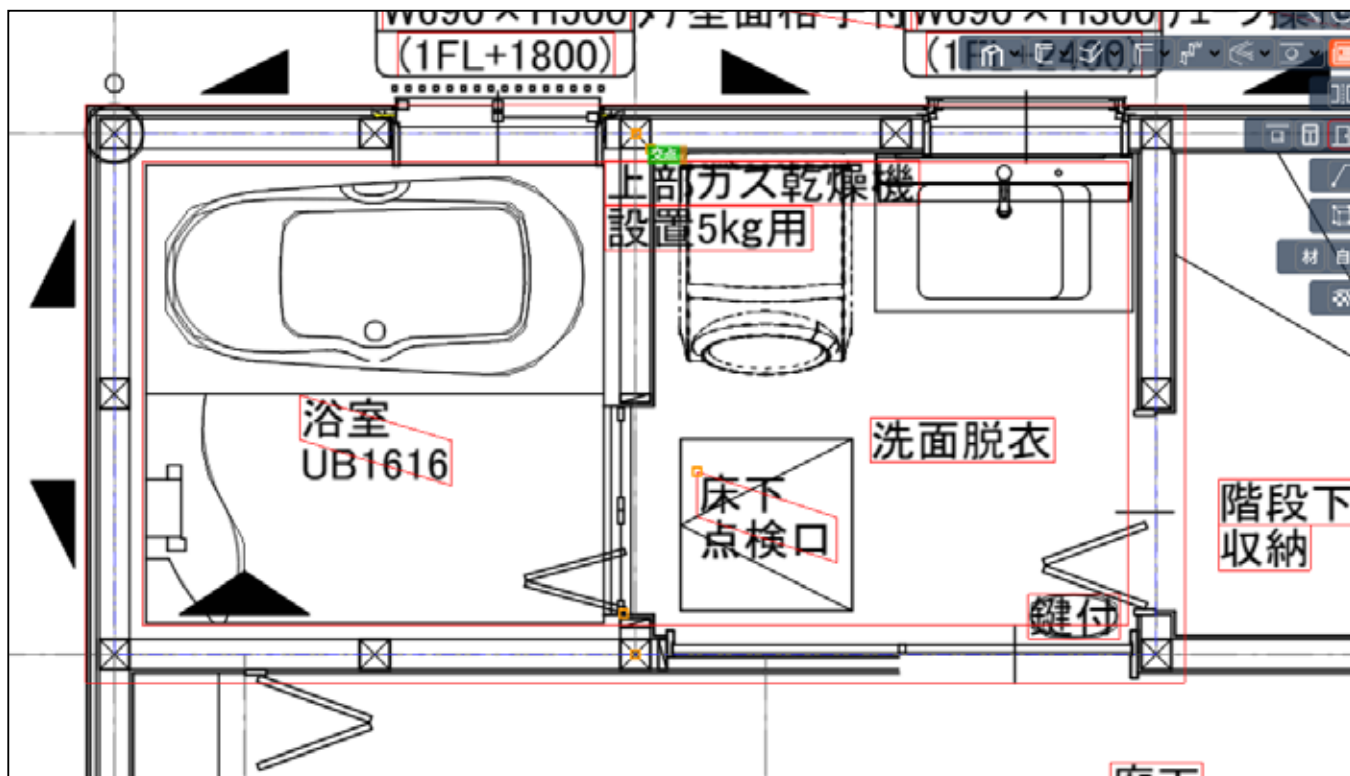
③部屋で分けるために、壁を一旦区切らなかったか (①とほぼ同じ意味)、

の、理由です。

追加で壁を足す時に、仕上げ面（グレー色の壁）を線だけで表示することもできます。
 下部の  をクリックし、仕上げ面のチェックを外すと、線だけで壁が表示されます。



線だけで壁が表示されています。



1 2) 部屋分けの確認は、右の表で確認します。 詳細設定を開きます。

No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾		項目	仕様	M
2	構造体	壁	☒ ☒		詳細設定	
2	建具	窓	☒ ☐		詳細設定	
2	建具	ドア	☒ ☐		詳細設定	
3	構造体	壁	☒ ☐		詳細設定	

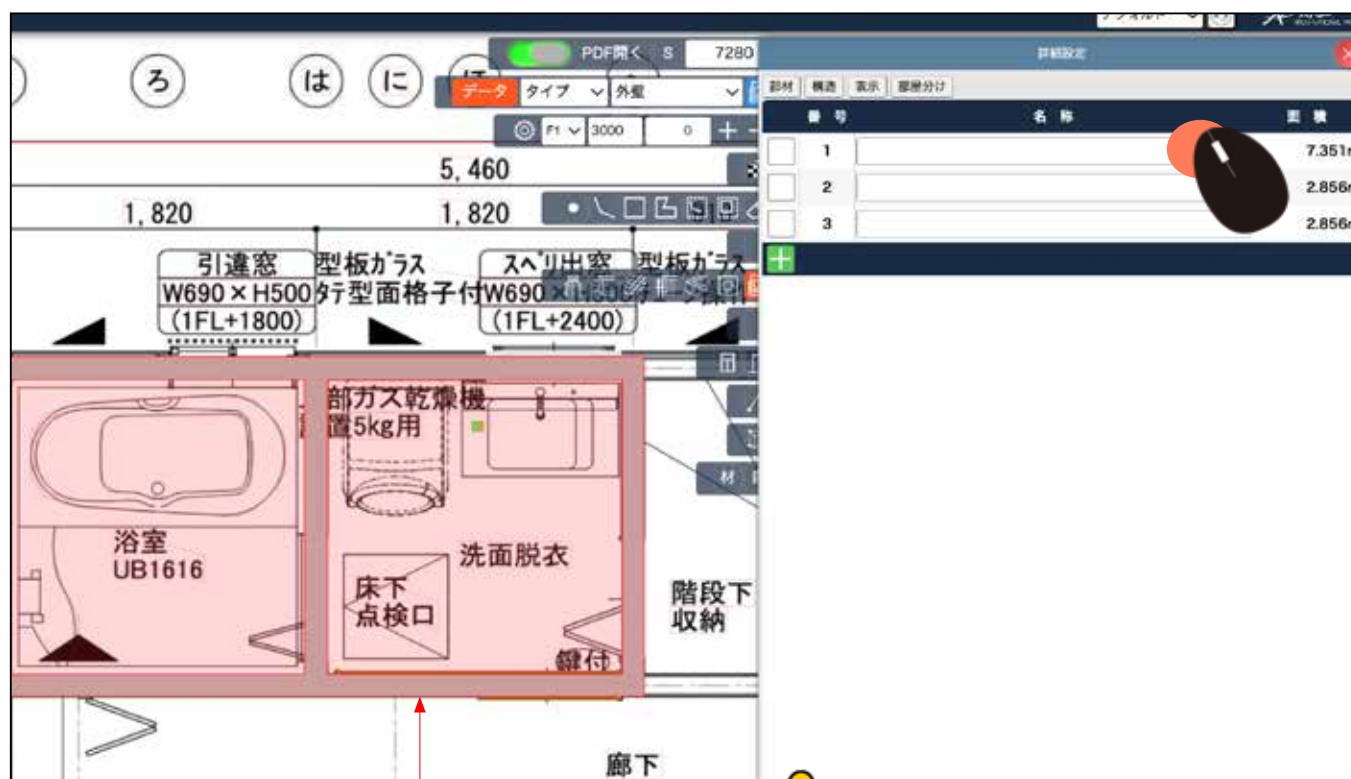
1 3) 部屋分け をクリックします。

PDF開く S 9100		詳細設定	
一タ	タイプ ▾ 外壁 ▾	部材	構造 表示 部屋分け
1 ▾ 2000 0		壁リスト	
番号	厚み	偏移	高さ
1	200	0	0 平
2	200	0	0 平
3	200	0	0 平
4	200	0	0 平
5	200	0	0 平
6	200	0	0 平

- 1 4) 部屋分けが自動で作成されています。 3つ表示されているのは、一番上が全体面積です。その後、自動で面積が大きい順に表示されています。

詳細設定		
部材	構造	表示
部屋分け		
番号	名称	面
☐ 1		← 全体
☐ 2		← 部屋 1
☐ 3		← 部屋 2
+		

- 1 5) 右の表で一番上にマウスをあてると、左の図面の全体面積に色がつきます。



一番上の面積は壁の外からの面積です。



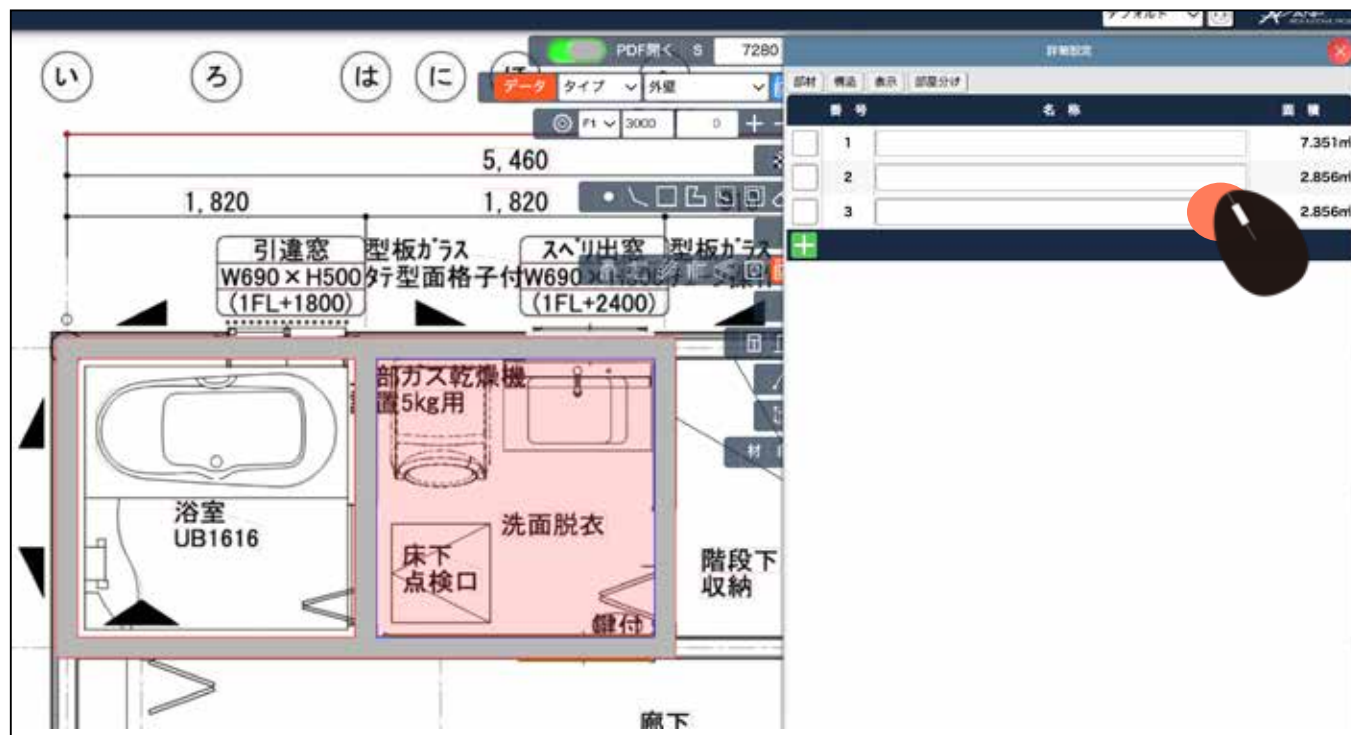
1 6) 2 行目にマウスをあてると、1 つ目の部屋に色がつきます。



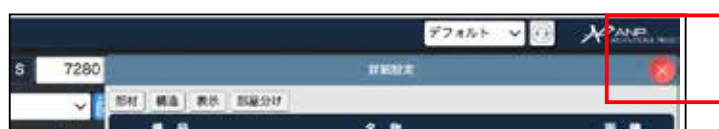
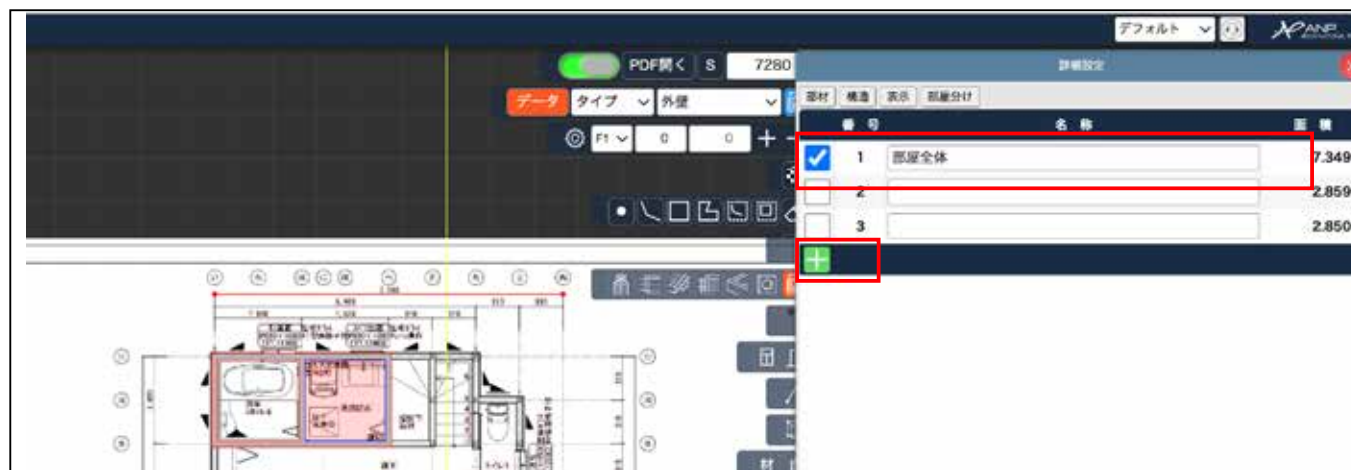
二番目以降の面積は壁の内からの面積です。



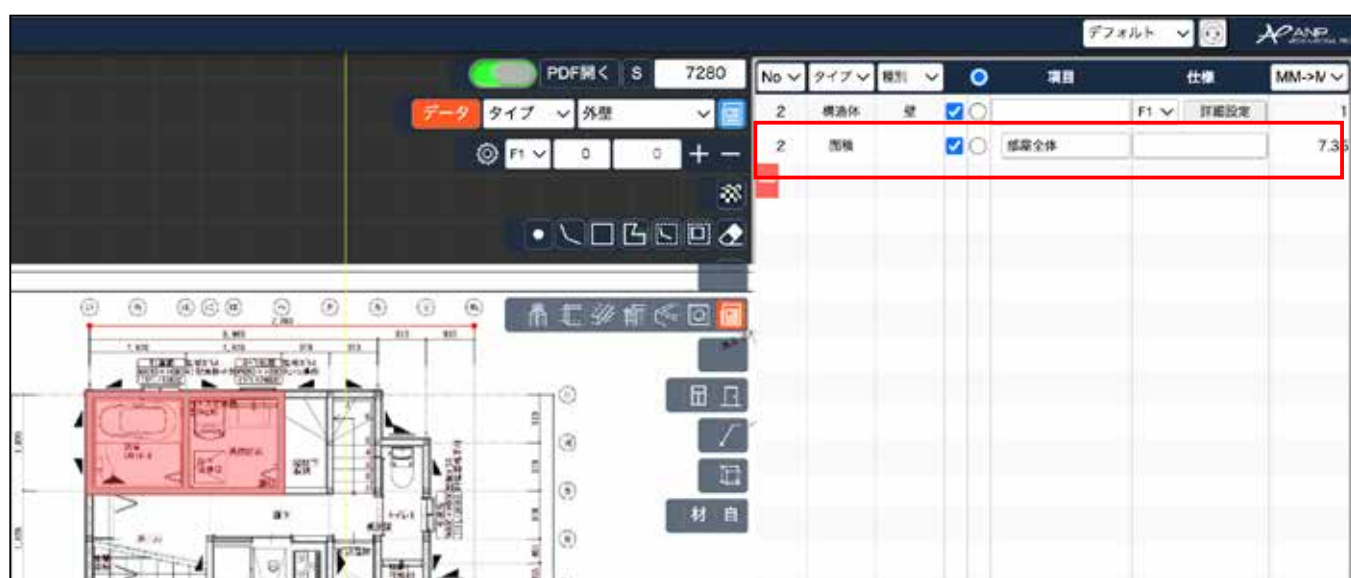
1 7) 3 行目にマウスをあてると、2 つ目の部屋に色がつきます。自動で大きな部屋から順番に表示されるようになります。



- 1 8) 自動部屋分けされた部屋の面積を、表の一覧に表示する場合は、部屋名を記入し、左の□にチェックを入れ、 をクリックします。 右上の  で、閉じます。

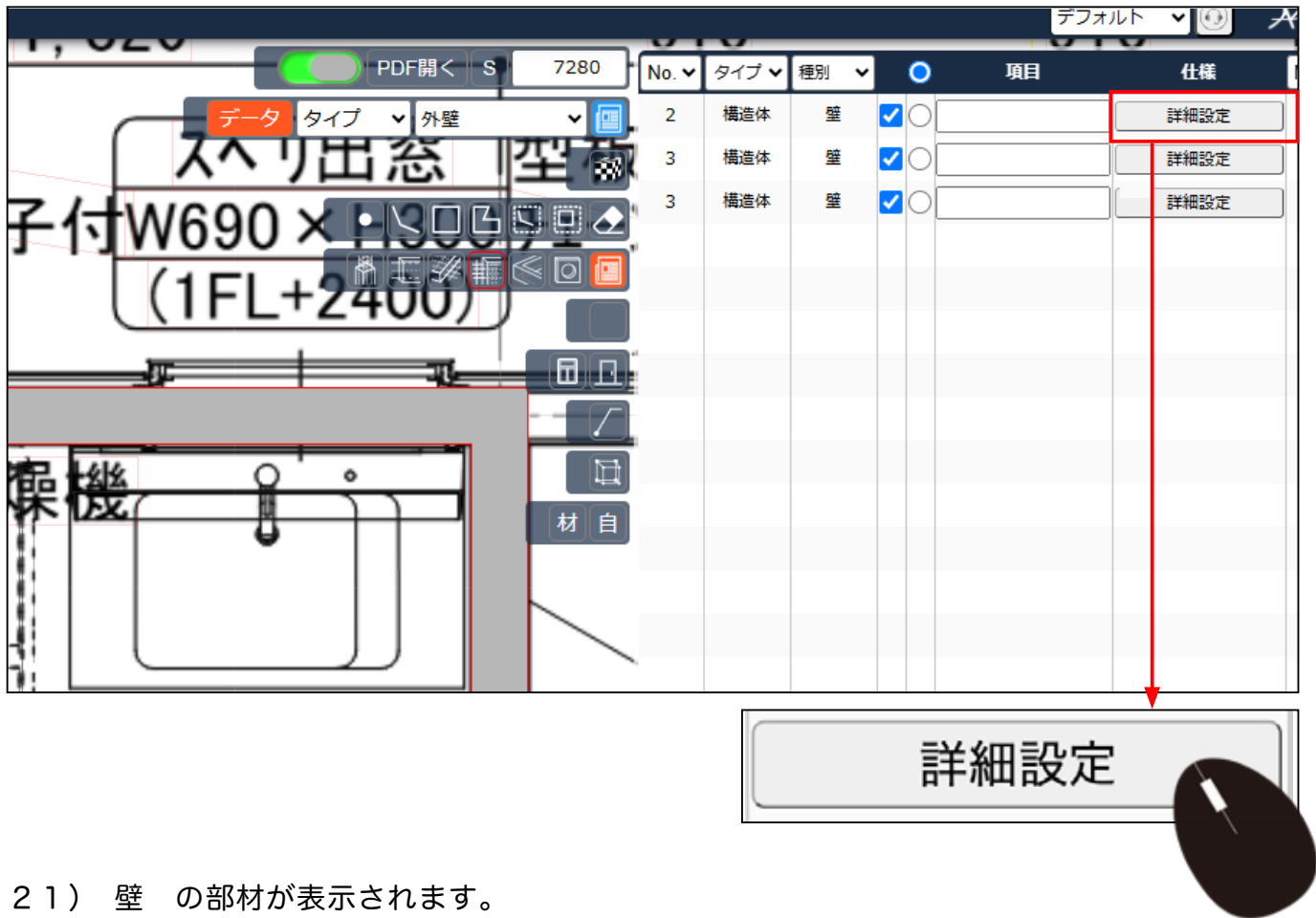


- 1 9) 右の表に部屋全体と入れた面積が表示されます。

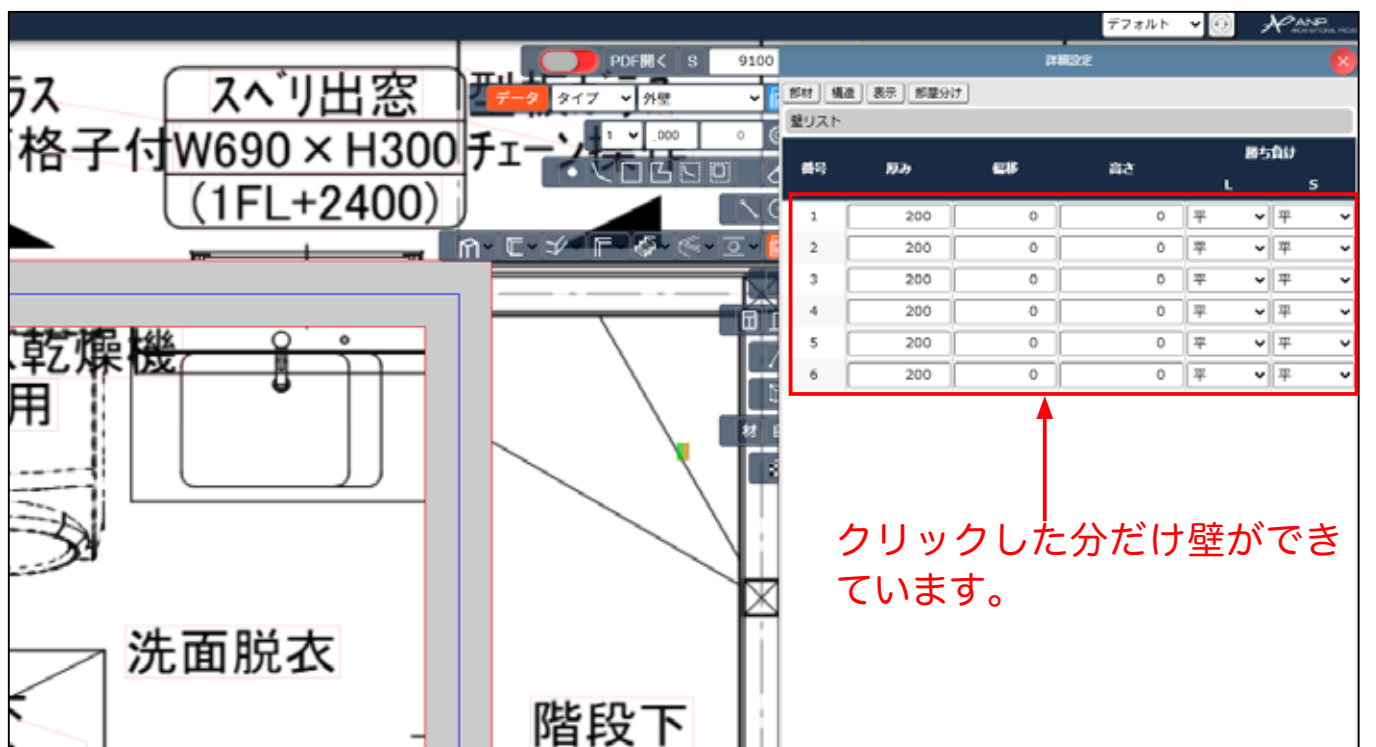


【壁の削除や編集】

20) 作成した壁の削除や編集は、右の一覧にできた 壁 の詳細設定をクリックします。



21) 壁 の部材が表示されます。



22) 壁の厚み、高さを変更できます。

高さはデフォルト 3000 (全体壁高さ) この箇所を変更すれば全部の壁高さが一気に変更されます。

1 ▼ 3000 0

壁リスト

番号	厚み	偏移	高さ	勝ち負け	
				L	S
1	200	0	0	平	平
2	200	0	0	平	平
3	200	0	0	平	平
4	200	0	0	平	平
5	200	0	0	平	平
6	200	0	0	平	平

高さをかえる場合、壁ごとでも変更できます。

壁の番号は、マウスを当てると表示されます。

設置5kg用

浴室 UB1616

洗面脱衣

床下点検口

階収

廊下

壁
仕上げ面
番号:5
有効面積: 0.361㎡

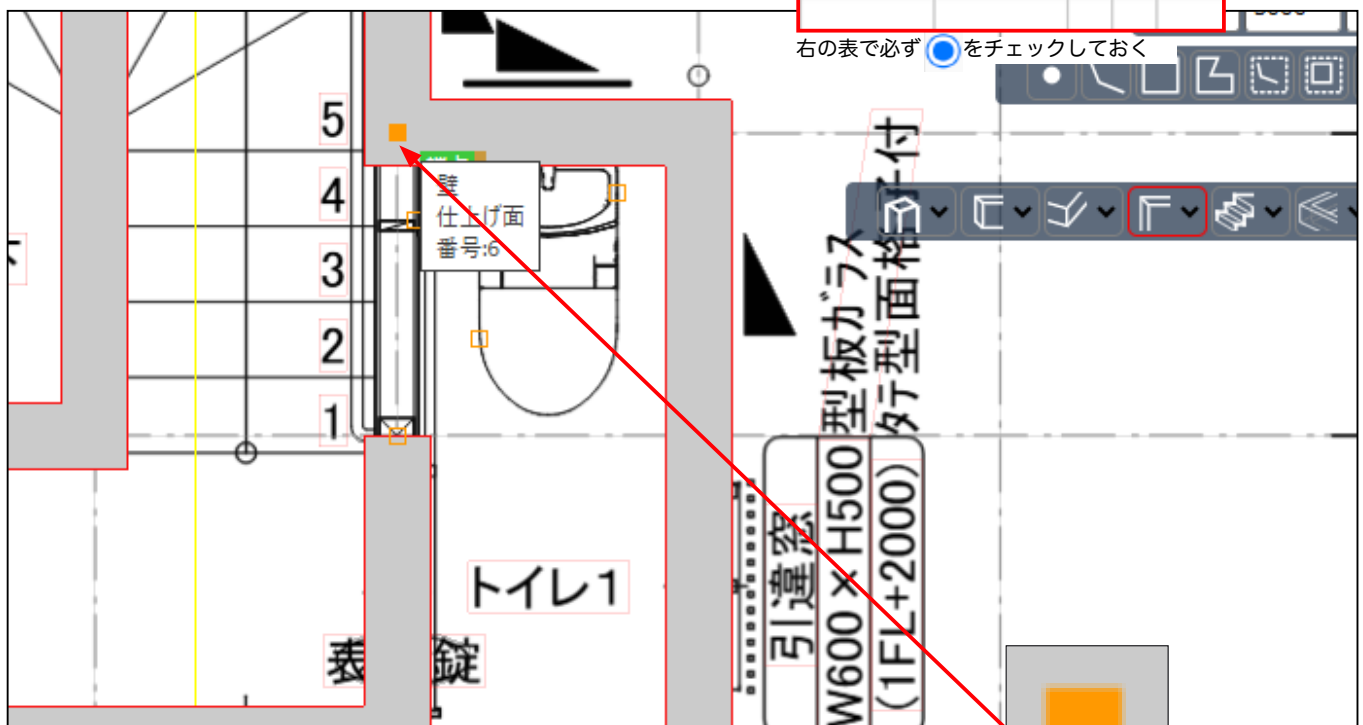
2 3) 図面側で、壁の番号を確認し、右の表から、壁を削除したり変更ができます。

番号	厚み	起移	高さ	層と負け	
				L	S
6	200	0	0	平	平
7	200	0	0	平	平
8	200	0	0	平	平
9	200	0	0	平	平
10	200	0	0	平	平
11	200	0	0	平	平
12	200	0	0	平	平
13	200	0	0	平	平
14	200	0	0	平	平
15	200	0	0	平	平
16	200	0	0	平	平
17	200	0	0	平	平
18	200	0	0	平	平
19	200	0	0	平	平
20	200	0	0	平	平
21	200	0	0	平	平

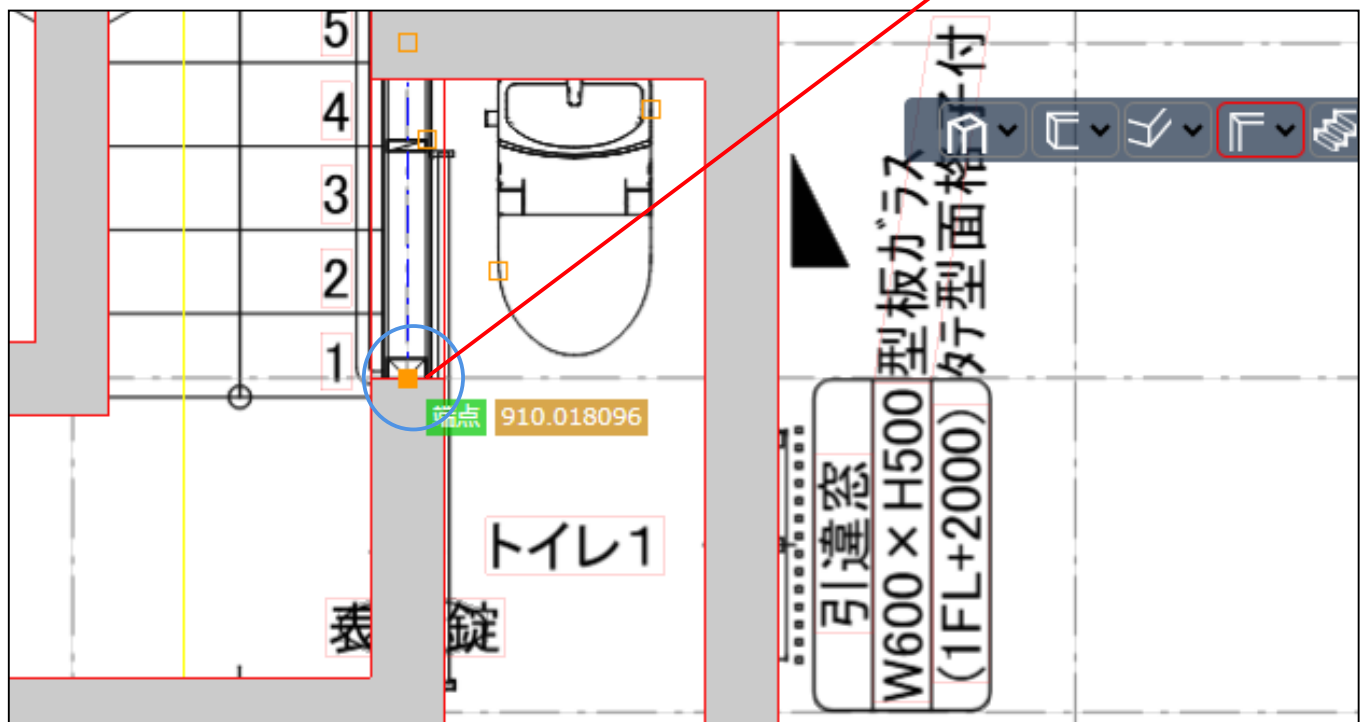
2 4) 削除は、目的の壁番号にマウスを当てると、削除マークが表示されるので、クリックして削除します。 右の表は、右上の赤丸 X、 で、閉じることができます。

25	200	0	
26	200	0	
27	200	0	
28	200	0	
29	200	0	
30	200	0	

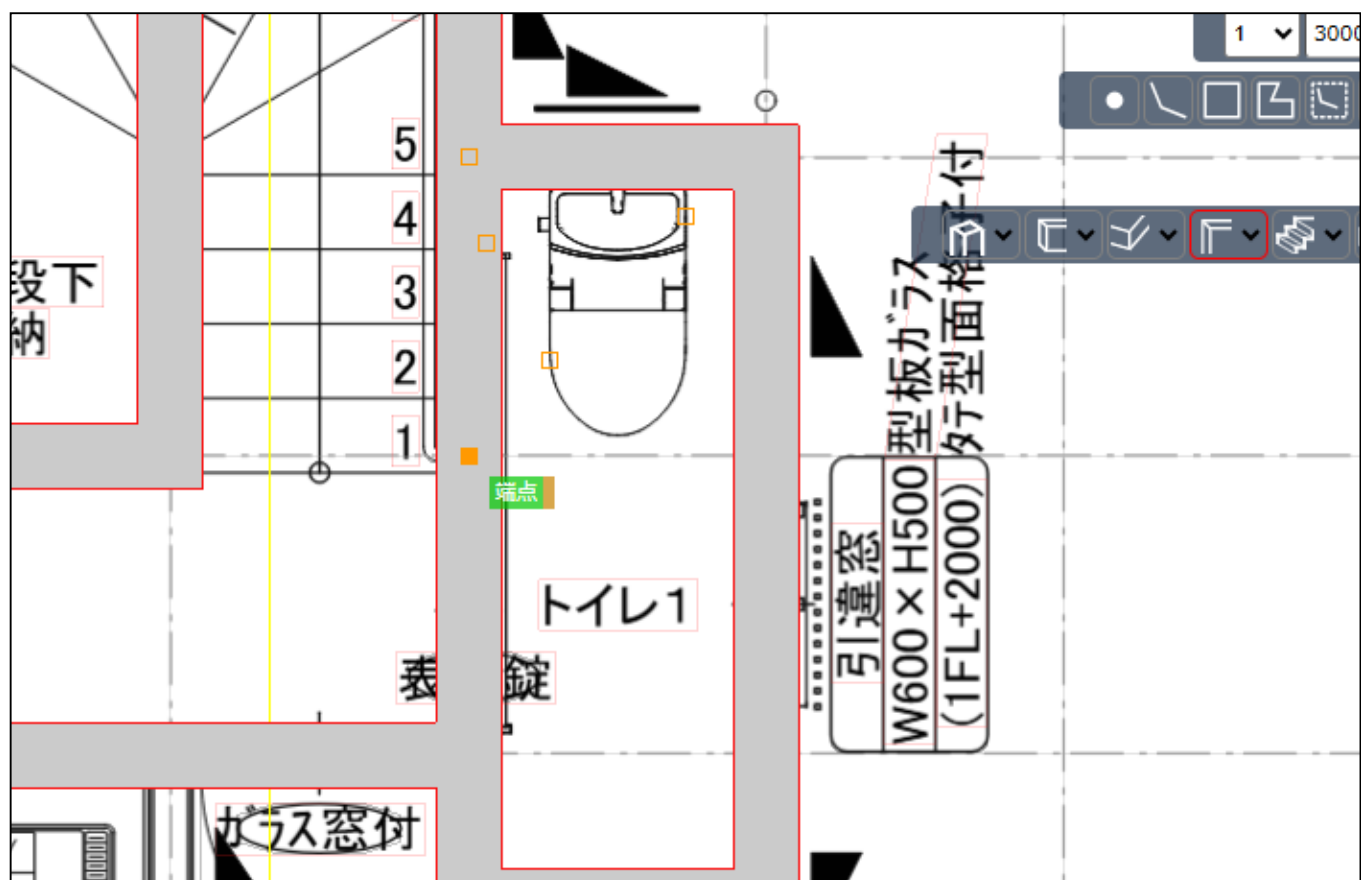
- 25) 指定した壁が、削除されます。再度、部屋分けできるように壁を引きます。
 チェックを入れ、壁のアイコンをクリック。
チェックを入れた場合、アイコンを再度クリックすることを忘れないようにします。



- 26) ■から■で壁の線を引きます。



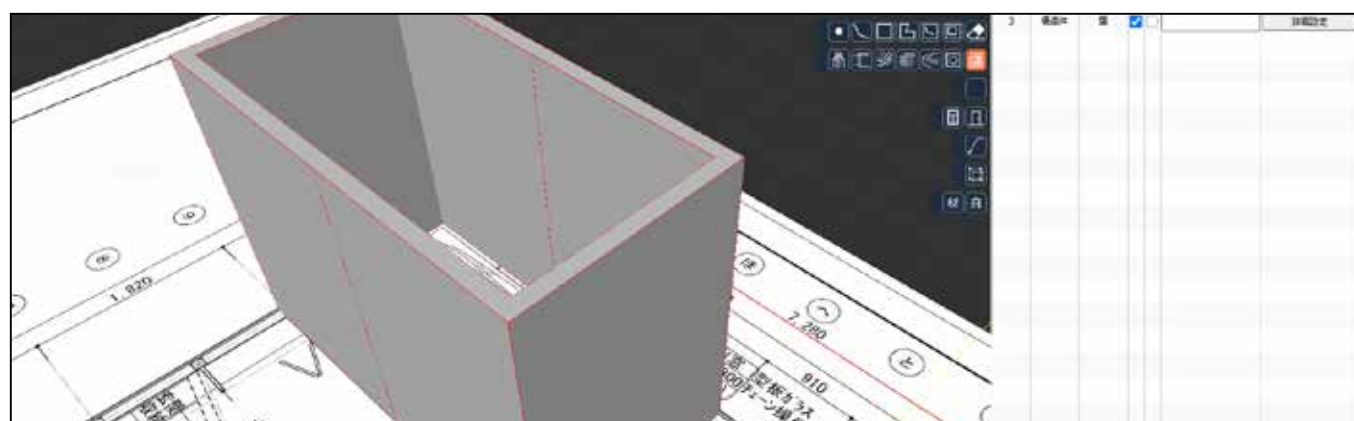
27) 新しく壁が繋がります。 部屋分けもできています。



28) 3D化します。 下部の 平行投影 を 透視投影に変えます。



29) 3D表示されます。



【なぞり方】

クローゼットを部屋として分ける場合

タイプ	種別	
構造体	壁	☒ ☒

右の表で必ず ☒ をチェックしておく

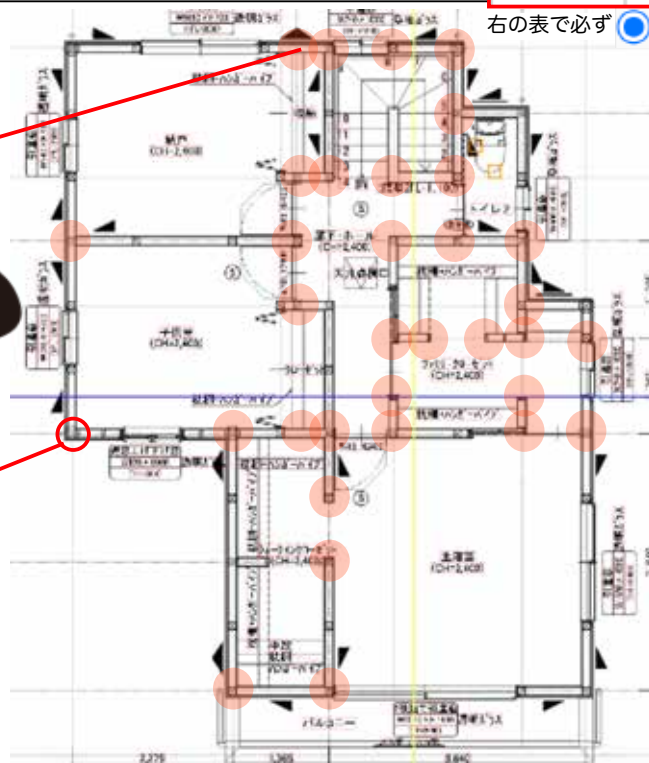
部屋の区切り

直線だが、マウスでクリックし区切りをしておく。

通り芯がない場合など、補助線を利用すると楽に真っ直ぐ引けます。

角の部分

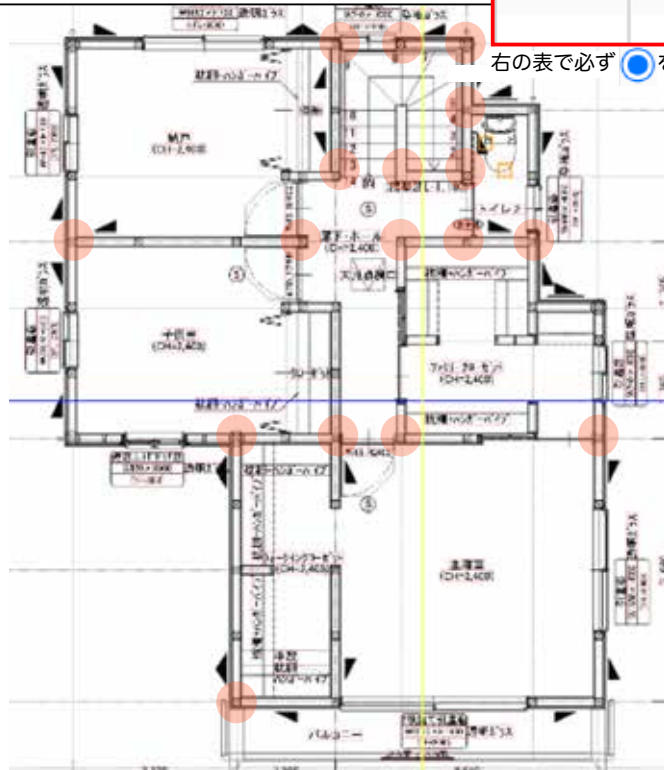
クリックし
新しくなぞります。



クローゼットを部屋として分けない場合

タイプ	種別	
構造体	壁	☒ ☒

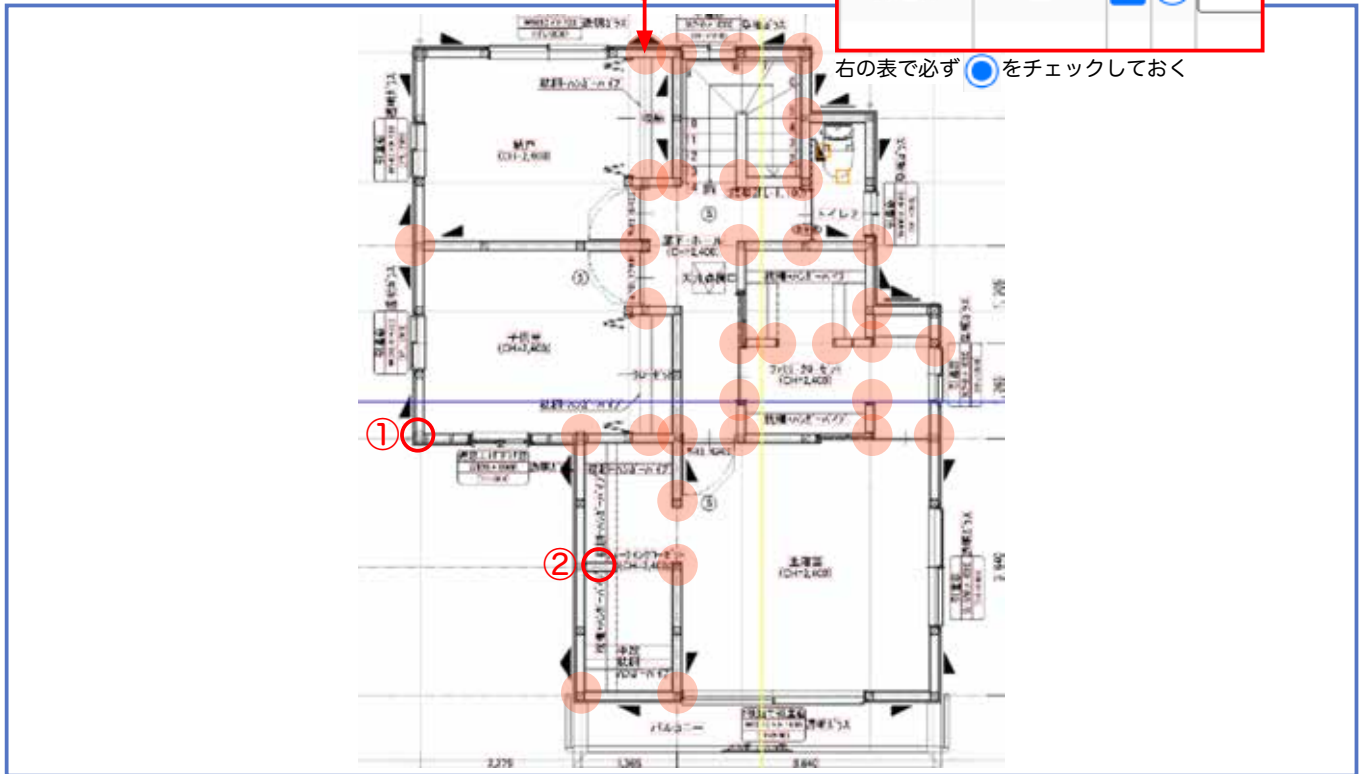
右の表で必ず ☒ をチェックしておく



【なぞり方】

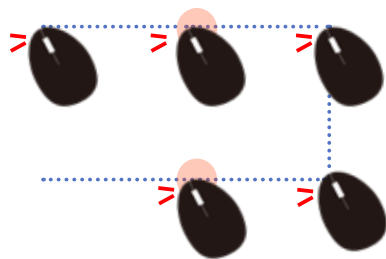
タイプ	種別	
構造体	壁	☒ ☒

右の表で必ず ☒ をチェックしておく

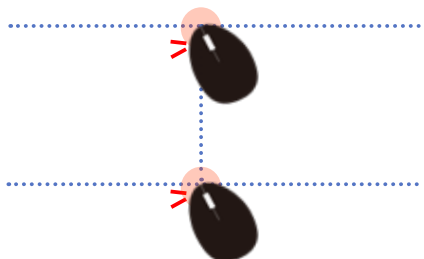


部屋の区切り

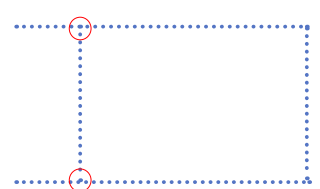
- ① 直線上を、マウスでクリックし区切りを入れておき、後から区切りの箇所から線をなぞり部屋として囲みます。



区切りのため、クリックしておく

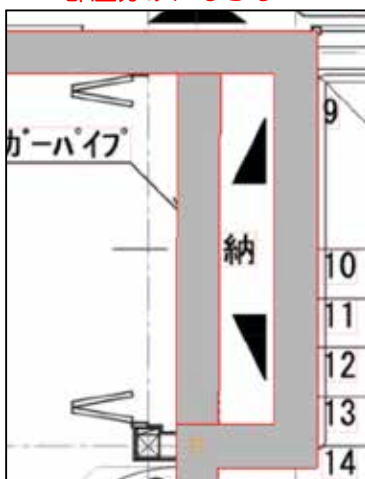


区切りの箇所同士を繋げます。

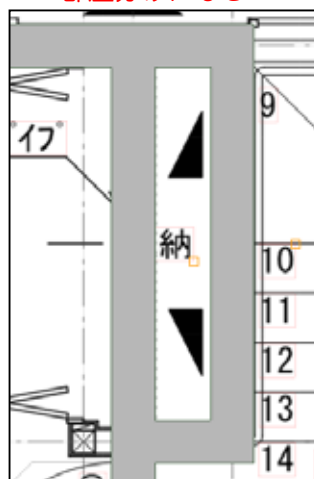


線と線が結びつき、閉じられた状態でなければ部屋と認識されません。

繋がっていない
部屋分けにならない



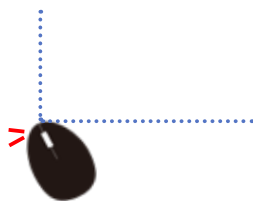
繋がっている
部屋分けになる



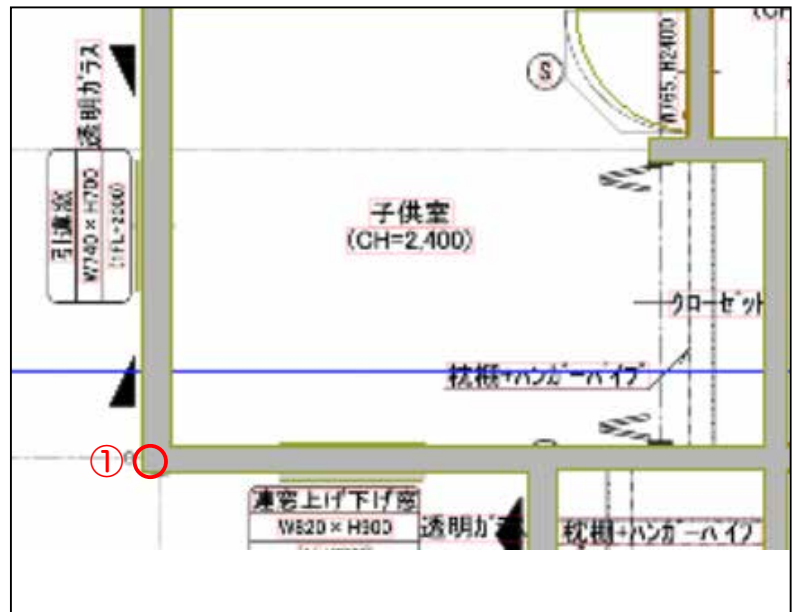
【なぞり方】

角の部分

①

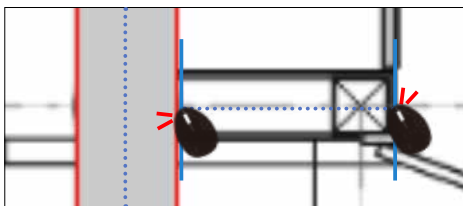


クリックし新しい方向へなぞります。

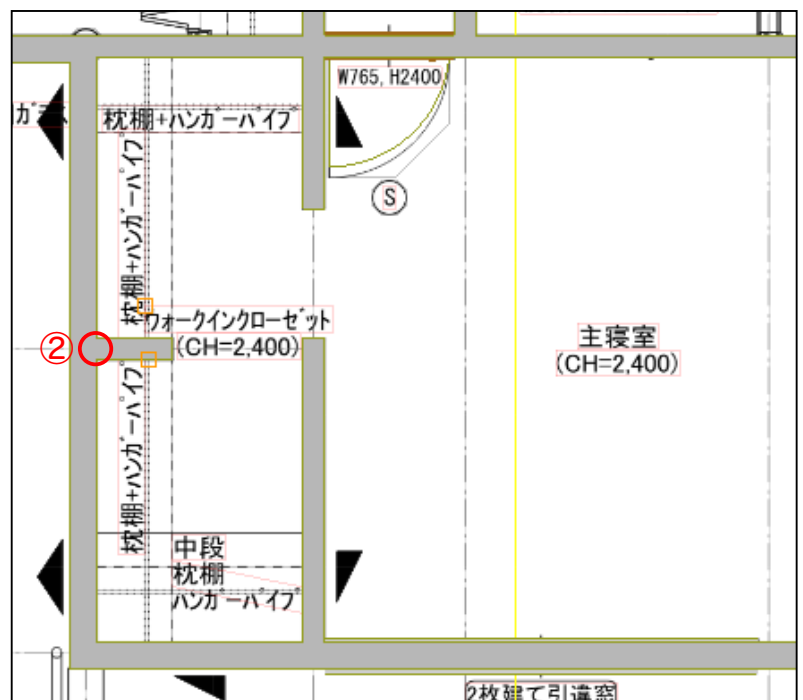
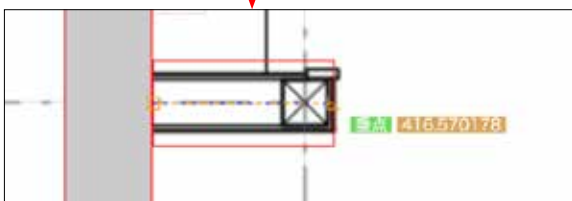


仕切壁の部分

②



開始と終了だけクリックし、Enterを押します。この場合、部屋分けの必要がないので、末端部分までマウスを引きます。



タイプ	種別	
構造体	壁	☒ ☐



右の表で必ず ☒ をチェックしておく

【図面位置移動】

マウスホイールを**押したまま**動かして移動します。



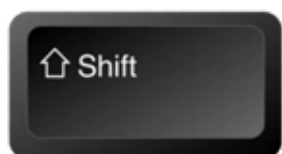
【3D時 360°操作】

マウスホイールを**押したまま**動かします。



【3D時 上下左右移動】

Shift + マウスホイールを**押したまま**上下左右に動かします。



+



※マウスホイールがないマウス

図面の位置移動はキーで操作できます。

